

【現代社会学部】令和8年度 学部等教学マネジメント計画書

3つのポリシーに基づいた学修者本位の教育の実現に向けて、学部等教学マネジメントに関する以下の観点について各学部で計画・実行・検証し、次年度以降の改善に繋げることとする。

1. 学部における教学マネジメントの組織体制

現代社会学部では、学部教務委員会および学部自己点検・評価委員会を設置している。

学部教務委員会は、両学科から5名ずつ合計10名の教育職員により構成され、学部長、副学部長、両学科主任を含む。学部自己点検・評価委員会は、両学科から合計7名の教育職員により構成され、学部長、副学部長、両学科主任を含む。

学部教務委員会では、学部全体の教学の企画立案や施策実施に当たるとともに、各学科から提案される事項を審議する。学部全体に関わる事項、学科から提案された事項は、学部教務委員会での審議を経て、教授会における審議事項・報告事項となる。

学部および学科において、以下のような形で教学マネジメントが実施される。

Plan:学部全体に関わる課題については、学部教務委員会において検討を行い、計画を立案する。また、各学科に関わる課題については、学科教務委員を中心に検討を行い、学科会議にて計画等を立案する。その後、学部教務委員会及び教授会における審議を経て決定する。

Do:教授会での決定事項に従い、学部ないし学科の各種委員会または教員において実施する。

See:学部自己点検・評価委員会にて年度毎に評価を実施し、顕在化した課題については、教授会を通じて学部教務委員会ないし各委員会、あるいは学科会議にフィードバックされる。

2. 体系的かつ組織的な教育課程の編成・実施を支える各ツールの課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題

① カリキュラムマップ

心理学科を含めた3学科全体のカリキュラムマップの確認が必要である。

② シラバス

「14回+オンデマンド授業」の表記方法については、引き続き検討を加える必要がある。

③ その他（カリキュラムツリー、ナンバリング等）

心理学科を含めた3学科全体のカリキュラムツリー、ナンバリングの確認が必要である。

今年度の取り組み

今年度は、新カリキュラムの運用に際しての課題の検討、心理学科設置に伴うカリキュラムマップ、カリキュラムツリー、ナンバリングの検討を行う。

3. 学修成果・教育成果の把握・可視化に向けた今年度の取り組み

課題

教学 IR 情報や、近年の成績分布情報などを共有し、GPA や科目の履修状況などを学部 FD にて共有するとともに、現在の学習成果・教育成果の把握について構成員で問題意識を共有することが求められている。

今年度の取り組み

「授業の目標達成度」「学ぶ意欲」「授業の満足度」をより高めるため、準備学習等をいかにして充実させたら良いか、今年度 FD の対象授業となっている導入科目からまず検討を始める。

4. 授業科目の到達目標の達成状況および学生の資質・能力の修得状況から明らかになっている課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題	
学部基盤科目のうち、量的データを扱う科目である「データ分析」において、準備学習等の時間が長いのにもかかわらず、「授業の到達目標」「学ぶ意欲」「満足度」にやや低い傾向がみられることが学習成果実感調査の結果から明らかになった。これは、同様の性質を持ち、かつ高度な内容となる「社会統計学」「量的調査法」「社会調査実習」についても同様の傾向があるものと思われる。 新カリキュラムにおいて「データ」に関するプログラムを両学科とも設置しているが、次年度以降、このプログラムを選択し、履修する学生が集まるかどうかは課題である。	
今年度の取り組み	
令和7年度のFDにおいて、「データ分析」「社会統計学」の授業見学と意見交換を実施したが、きめ細かく、丁寧な指導をしていることが確認できた。一方で、「データ」に関するプログラムが本格的に稼働する次年度に向け、科目担当者等との意見交換を通じて、課題の抽出と解決策について検討する。	
アセスメントプランの取り組み	
アセスメント科目名	検証方法（在学時）
・社会学入門 A ・入門演習 A ・データ分析 ・演習 I ・演習 II ・プロジェクト演習 I ・プロジェクト演習 II ・ ・	☐ 外部アセスメントテスト（GPS アカデミック） ☐ 学習成果実感調査 ☐ GPA ☐ 在学生調査（在学生活に関するアンケート） ☐ ☐
	検証方法（卒業時） ☐ 卒業研究・卒業論文 ☐ GPA ☐ 卒業時調査（4 年次生調査） ☐ ☐
取り組み内容（「8 つの資質・能力」の達成方法など）	
アセスメント科目についての教学情報を参考資料としつつ、授業目的等の達成状況及び学生の資質、能力の習得状況を確認し、カリキュラムの改善にどのように生かすことができるか検討する。	
その他	

※この内容は、本学における教学マネジメントの一環として、本学 HP へ掲載します。